

日本食肉流通センターやさしい先輩たちの情報

ここで紹介する6人は、大学新卒でセンターに新規採用された人たちで、やさしいかどうかわかりませんが、ひょっとするとみなさんの先輩になるかもしれない人たちです。

各々個性は異なりますが、彼らに共通するのはセンターの中で横断的に様々な仕事を体験しながら自分のキャリアを形成し、将来的にはセンターを背負って立つ幹部を目指し頑張っていることです！

当センターへの就職を希望する学生さんも、今後の参考としてみてはいかがでしょうか。



【プロフィール】①出生年・年齢②出身県③血液型④出身大学⑤採用年⑥現在の役職⑦略歴

食肉流通の改善及び合理化のための業務に日々邁進しています！



森田 孝行（モリタ タカユキ）

①1959年・51歳②埼玉県③O型④M大学⑤1983年

⑥業務部審査役

⑦採用・業務部情報課→業務部情報課主査→総務部調査役

→総務部経理課長 →総務部総務課長 →業務部業務課長→現職

ゼロから一つの「作品」を作り上げたこと。大きな自信に！



蛭田 文彦（ヒルタ フミヒコ）

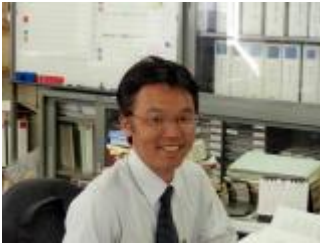
①1963年・47歳②福島県③A型④K大学⑤1986年

⑥情報部情報課長

⑦採用・業務部業務課→業務部業務課主査→業務部調査役

→業務部業務課長 →総務部総務課長 →業務部情報課長→現職

ビデオ制作現場が、今の仕事の糧となっています。



鈴木 修輔（スズキ シュウスケ）

- ① 1968年・43歳②神奈川県③O型④K大学⑤1993年
- ⑥総務部総務課長
- ⑦採用・業務部業務課→業務部情報課→業務部情報課主査
→業務部業務課主査→業務部調査役→現職

フェア関連の業務などをやっています！



小林 寛（コバヤシ ヒロシ）

- ① 1975年・35歳②非公表③非公表④非公表⑤2000年
- ⑥業務部調査役
- ⑦採用・総務部総務課→業務部情報課→業務部情報課主査
→情報部情報課主査→業務部主査→現職

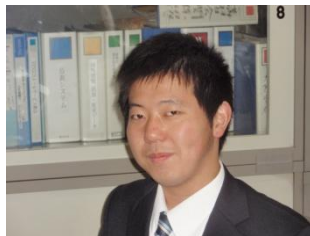
自分の価値観と合っているかが大切です



齊城 達哉（サイキ タツヤ）

- ① 1981年・30歳②愛知県③A型④K大学⑤2003年
- ⑥情報部企画課主査
- ⑦採用・総務部総務課→現職

みなさんとてもフレンドリーです



矢城 佑一（ヤシロ ユウイチ）

- ① 1988年・22歳②静岡県③B型④T大学⑤2011年
- ⑥情報部情報課
- ⑦採用・情報部情報課

業務部審査役 森田孝行さんの詳細情報



■ 新人時代の思い出 【自問自答を繰り返す…】

私が当センターに採用された昭和58年当時の東扇島は、周辺には建物はほとんどなく、市営バスも通らない、信号機もないという、陸の孤島状態にあり、この地に初めて足を踏み入れた時は、若干の不安を感じましたが、海と縁のない埼玉県出身者にとって、初めて海底トンネルを抜けた後に見えた東京湾の青い海は、とても新鮮で感動的だったことを思い出します。

業務部情報課（現情報部）に配属を命ぜられ、部分肉価格情報の公表業務を担当しましたが、経済学部出身者にとっては公表システムや情報端末機の仕組みを理解するのに大変苦労しました。毎朝ホストコンピュータの立ち上げから始まり、情報収集業務－公表業務－公表委員会－確定公表値の外部伝達等が一日のルーチンワークでしたが、只管仕事をこなしたことを覚えています。

仕事に慣れてくると、この公表業務の意義（公表情報はどうあるべきか、如何にして生きた情報を提供できるか等）に疑問を抱くようになりました。出店者の店長さんに意見を求め、自問自答を繰り返していたことを思い出します。

■ 仕事を通して得たもの・特に印象に残っている事柄等 【経理課長としての責任感とやりがい・大きな自信に！】

経理課長になった平成8年3月に、前任者の退職に合わせて、いきなり未経験の決算業務を命令され、3ヶ月間休みなしで予算・決算業務をこなしたときは、業務に対する大きな自信となったほか、センターの経営内容を詳細に把握できたことは有益であったと思います。また、基本財産の運用方法について、当時低金利の中、より高金利を見込める「リバースデュアル債券」という仕組み債を億円の単位で当時の理事長を説得して初めて購入した時は大きな責任感とやりがいを感じたことを思い出します。

月並みな言い方ですが、苦しい経験のほうが、より記憶に残るものであり、結果としてそうした経験が自分自身を成長させてくれるようです。

■ 現在の仕事内容等について【ひたすら施設の貸付促進・・・】

現在センター施設の貸付業務や部分肉流通の改善合理化のための調査研究、知識の普及及び研修等の業務を担当しています。川崎のセンター施設には約 50 の食肉卸売業者が入居し、首都圏の流通基地として営業活動していますが、施設に空き小間が生じたときには、新たに入居者を探す必要があります。新たな借受希望者との入居交渉では、賃料等で必ず難航しますが、契約が成立した時は達成感・充足感を感じます。

その他、センター施設の老朽化問題、施設の衛生等対応すべき課題はたくさんあり、積極的に取り組んでいかなければなりません。

■ 当センターへ就職を希望される学生のみなさんへ【明るい展望を目指して・・・】

(財) 日本食肉流通センターは職員数 26 名の公益法人ですが、センターは部分肉の取引の適正化のための業務を行うことにより、食肉流通の改善及び合理化を推進し、もって畜産及びその関連産業の発展と国民の食生活の改善に資するという大きな社会的使命を負っており、この目的達成のために現在部分肉の取引情報の公表業務や部分肉流通施設の貸付業務等を行っているところであります。

このような仕事をやってみようという意欲のある元気な学生さん！この活気ある職場（特に元気な女性がいっぱい）で、センターの明るい展望を目指して一緒に働いてみませんか。

■ 最後にひとこと【志望動機を明確に、大々的にPR】

昨今の経済不況の中で就職活動は大変厳しい状況にあると思いますが、こういう時にこそ志望動機を明確にし、自分自身を大々的にPRすることが必要であると思います。

情報部情報課長 蛭田文彦さんの詳細情報



■ 新人時代の思い出 【上司の懐の深さに感謝…】

センターに採用されて1年目、食肉コンサルタントの先生の事務所へ勉強に通わせてもらい、「チェーンストア理論」、「食肉マーチャダイジング」といった専門知識を学びました。事務所では、専門知識の他にも、社会人としての基本的な心構え、社会の常識等も厳しく教えられ、お酒が全く飲めなかった私もここでお酒を覚えました。また、同時期に勉強に通っていた仲間とは、20年以上過ぎた今でも時々連絡を取り合っています。当時、何も分からない私に、年間50日以上も勉強に通わせてくださった当時の上司の懐の深さには、今でも感謝の気持ちで一杯です。

一方、プライベートでは、3年先輩の森田さんに、食事に誘っていただいたり、買い物やスキーに付き合っていただいたりして大変お世話になりました。

■ 仕事を通して得たもの・特に印象に残っている事柄等

【ゼロから一つの「作品」を作り上げたこと。大きな自信に！】

採用後16年間業務部業務課に所属し、主に部分肉の流通の改善及び合理化のための仕事をしました。具体的仕事内容は、①牛・豚部分肉の取引規格の策定及び普及促進、②部分肉流通をさらに促進させるための教育ビデオの作成及びセミナーの開催、③一般消費者や食肉関連企業を対象にした食肉フェアの開催等々でした。

①については、何もないゼロの段階から学識経験者等で構成する委員会で方向性を確認し、関係する役所・団体や業界との意見調整作業を経て部分肉を製造し写真撮影、最終目標である部分肉の規格書（コマーシャル規格）を作成しました。途中何度も困難や挫折を経験しましたが、ゼロから一つの「作品」を作り上げたことは私自身にとって大きな自信となりました。

②については、牛・豚部分肉の筋肉の配置や特徴等を詳細に覚えることができました。今でも部分肉の肉片や切断面を見れば、その部位がどの部分肉であるか一目で分かります。また、20年前に制作したビデオが今現在も決して色あせていないことには驚かされます。

③は特に印象に残っています。最初は来場者が2～3万人だったものが年々増加していき、私が担当していた最終年は6万人だったと思います。来場者が増加するにつれて催事内容も充実させたため、企画や準備がとても大変でした。1月当たりの超過勤務が100時間を超過した年もありました。フェアは今も毎年10月に開催されていますが、自分が担当していた当時の手法やノウハウが今でも継承されている様子を見ると、「基礎は自分

が作った」と自負しています。

17年目（2002年（平成14年））から4年半総務部総務課に所属し、主に諸規定の制定・改廃、理事会・評議員会の開催、人事・給与・サービス・福利厚生、調達・管理、契約等の仕事をしました。法律関係の知識に乏しかった私は異動と同時に六法全書と不動産の契約に関する本を買い込み、読んでみたものの記載内容の意味が理解できず落ち込んでしまったこと、早々に役員の退任があり、退職手当を支給する際、控除する地方税の算出方法が分からず、地方公務員だった父に電話で教えてもらったこと等昨日のように思い出されます。日常の業務では総務課2年先輩の小林さんに諸々教えていただきお世話になりました。また、この年は大卒の職員を新規採用した年でした。大学時代の恩師に諸条件を伝え推薦してもらい、正式な手続きを経て齊城さんを採用しました。

総務部総務課での4年半は、それまでどちらかといえば現場関係の仕事が主体だったものが、仕事全体を客観的に見ることができ、大変勉強になったと思っています。

■ 現在の仕事内容等について 【チームワークは最高です。】

2007年（平成19年）から現在の部署の情報部情報課で仕事をしています。当センターの基幹事業である「部分肉取引情報の公表業務」を担当しています。

具体的仕事内容は、①部分肉取引データの集計・分析・公表、②コンピューターシステムの運用及び保守・改善です。

①については、全国の主要な食肉卸売企業から毎日送られてくる部分肉取引データ（1日当たり5～10万件）を集計・分析の上、公表値の原案を作成し、取引情報公表委員会の審議を経て、各種新聞やホームページ上に公表する仕事です。

一連の業務は、システムティックに行われており、公表も毎日決められた時刻までに終了しなければなりません。そのため、コンピューターシステムもハイレベルな「ミッション・クリティカル」を要求されています。

②ですが、当センターでは独自のコンピューターシステムを構築しており、このシステムによって部分肉取引データの集計・分析・公表業務を行っています。公表データのユーザーは、食肉流通関連企業をはじめ、畜産農家、大学・試験研究機関、消費者等多岐にわたっているため、万が一、障害が発生した場合、社会的にも大きな影響を及ぼします。そのため、システムの運用・保守はもちろんのこと、定期的にシステムの見直しと改善を行うことが責務となっています。

昨年8月に部分肉取引情報の公表業務をほぼオートマティックに行える新システムが構想期間を含め約2年の歳月を経て完成し、現在は、改善点や機能高度化等について種々検討し、システムの改良を行っています。より良いシステムを実現するのもまた、大切な仕事と考えています。

最後に、日々の業務を遂行するに当たっては、一緒に働く仲間の「和」を大切にしよう心がけています。この4月から新入職員が加わり、現在情報部は6人体制ですが、きめ細かい連携のもとに各々担当業務を黙々とこなしています。チームワークは最高です。

■ 当センターへ就職を希望される学生のみなさんへ 【自分自身のものさしで…】

いよいよ就職活動も本番を迎えようとしています。私自身の経験からひと言申し上げさせていただきますと、どのような職場や仕事内容でも、決して楽しいことばかりではないということです。むしろ苦しいことや辛いことの方が多いと思ってください。近年はインターネットの就職情報サイトや就職情報雑誌で「格好のいい側面」や「楽しそうな職場」が多く取り上げられています。その表面的な情報だけを見て、就職活動を行っている、本質を見失いがちです。自分自身の信念を持ち、学生時代に熱中したアルバイト、サークル活動等の経験を生かし、自分のものさしで職場を選べば、どのような厳しい局面であっても、想いを貫き通せるのだと私は思います。

また、就職活動は、学生時代にしかできない社会勉強だと思います。出来るだけ色々な業界や多くの会社・団体を見てもらいたいと思います。そして、納得するまで考えて、明るく前向きに、自分自身で判断して結論を出してください。

いつかお会いできる日を楽しみにしております。

■ 最後にひとこと 【職場結婚多数】

プライベートな話ですが、森田さん、鈴木さんそれと私は職場結婚です。その他にも職場結婚の方が2組おります。また、川崎のセンター内には食肉の卸売企業等が60社ほど出店しておりますので、その間の「センター内結婚？」は相当数存在します。

ちなみに、私の場合、森田さんの仲介が端緒となってなんとかこぎつけました。

総務部総務課長 鈴木修輔さんの詳細情報



■ 新人時代の思い出 【大騒ぎ・・・大きな勘違い！？】

今でも鮮明に覚えている大失態です。1年目のフェアの出来事です。

このフェアとは、マイナビでもご紹介していますが、当センター主催の毎年1回開催される「ちくさんフードフェア」のことです。当時、私の担当は、抽選会場（今はやっていません）でした。広い会場を来場者にくまなく見てもらうため、会場10ヶ所にスタンプを設置して、すべてのスタンプを押してこられた方に抽選で景品を提供するというスタンプラリーを実施していました。景品には、5千円の食肉ギフト券から全農さん提供の牛乳と卵など、はずれなしでしたので、毎年多くの来場者がこぞってやってきました。

この時もあまりの多くの来場者に景品が足らなくなって、急きょ缶コーヒーを調達して事なきを得ました。

ところが・・・翌朝、全農さんの冷蔵庫に何十ケースもの卵があるではないですか。私が、「景品が足りない！」と大騒ぎしていたのは、大きな勘違いであったのは言うまでもなく、毎年、来場者を計算に入れて景品を仕入れているわけですから足らなくなるなんて、ないはずなのに。50万円の損失に上司も怒るところか呆れていました。今でも思い出すところから居なくなってしまうようになります。

■ 仕事を通して得たもの・特に印象に残っている事柄等【ビデオ制作現場が、今の仕事の糧となっています。】

私は、平成5年入社時は業務部業務課に配属され、以降、業務部情報課、総務部総務課に配置され現在に至ります。特に業務部時代にセンター内の出店者の方々と接する機会が多く、食肉卸売業という“商売”を教えてくださいました。また、よく怒られました。スーツを着ていて事務所に行っても見向きもされなかったこともありました。

もちろん忙しいからですが、こうして時間を共に過ごしたおかげで、何が違うかという、向こうの接し方が変わってきます。入社間もない私のような者でも対等にお話できるようになった瞬間は忘れられないですね。

印象深いのは、部分肉の販売促進を図る目的に製作した「部分肉の販売活性化ビデオ」等の製作現場に携わったことでしょうか。撮影のために部分肉を仕入れ、撮影場所を確保し、朝早くから遅くまで打ち合わせを繰り返し、半年近い月日を費やし、20分のビデオ（今の時代はDVDですが）がようやく完成するわけです。大変でしたが、今の仕事の糧になっていることは間違いのないと思います。

■ 現在の仕事内容等について【出店者の皆さんの世話役です。】

仕事の内容は、一般的にいう総務関係です。センター施設には、川崎で60社、大阪では15社ほどの出店者が入居しています。そんな皆さんの世話役といたら大げさですが、より使いやすい商売のしやすい施設に保つことが我々の務めです。これは、全部署に言えることですが、常日頃そのようなことを考えて仕事をしています。

■ 当センターへ就職を希望される学生のみなさんへ 【厳しい仕事こそ、将来の自分のために必ず役立つ！】

私の少ない経験の中にもありましたが、勤務時間内に終わることができない仕事。人から頼まれた仕事など、厳しいと思われる仕事を進んでできれば、将来の自分のために必ず役に立ちます。いろいろなことに興味を持っていれば、幅広く考えられる余裕がでてきますので、自信を持って本当に頑張ってもらいたいです。応援しています。

■ 最後にひとこと 【スポーツ大好き！！】

スポーツ大好き人間、大歓迎です！種目は問いません。私は今、子どもとやっているサッカーにハマっています。へたくそですが、へたくそなりに楽しんでいます。大いに遊んで、大いに働く。意外と大事です。

業務部調査役 小林寛さんの詳細情報



■ 新人時代の思い出

最初は、給与計算など総務関係の仕事をしていました。色々と勉強になりました。

■ 仕事を通して得たもの・特に印象に残っている事柄等

どの部署の仕事も大変勉強になりました。

■ 現在の仕事内容等について

現在は、業務部にて、フェア関連の業務などをやっています。

■ 最後にひとこと

就職活動大変だと思いますが、頑張ってください。

情報部企画課 齊城達哉さんの詳細情報



■ 仕事を通して得たもの・特に印象に残っている事柄等【総務課での仕事…社会人への転換期にとってもよい経験】

採用後4年間は総務部総務課に所属し、主に給与、福利厚生、契約等の業務を行っていました。当初は知らないことも多く、当時の上司であった蛭田さんや前任の小林さんを始めとする諸先輩方に助けられ、大変お世話になったことを覚えています。

また、私が度々ミスを犯した際には、蛭田さんにフォローしていただき、迷惑をかけました。

総務課では他に、諸規定の制定・改廃、理事会・評議員会の開催、人事等、会社の根幹をなす業務も所管する部署でしたので、社会人への転換期に総務課の仕事に関わったのはとてもいい経験であったと思っています。

■ 現在の仕事内容等について

平成19年から情報部企画課で仕事をしています。業務内容としては、

- 1 部分肉取引情報の収集・分析・公表
- 2 畜産関係情報の調査研究
- 3 関係団体と連携した食肉流通の改善・合理化の推進
を行っています。具体的には、

- 1 全国の食肉卸売企業から毎日送っていただく部分肉取引データを収集・分析し、HPや新聞・業界紙等に公表しています。

この部分肉取引データは、各企業様の生の取引データであるため、本来ならば外部に出てくるものではないため大変貴重なデータです。そのため、センターの公表データは、食肉関係者だけではなく大学等研究機関や消費者など多数の方が利用しています。

- 2 一例を挙げると、総務省で実施している家計調査データを基に、食肉の一世帯当たりの年間購入数量・支出金額を東・西日本で比較し、その結果を基に関係識者へ聴き取り調査を行っています。

3 当センターでは食肉流通標準化システム協議会の事務局を担っております。この協議会は、食肉流通の改善・合理化の推進を目的とし、食肉の加工、保管、販売、配送に関連する業界、食肉流通関係団体及びIT関連業界の法人又は個人並びに行政機関で構成されています（現在46会員）。

現在は、①食肉の流通ビジネスメッセージ（BMS）の標準化対応、②電子タグ（RFID）の活用標準化対応、③食肉用標準物流バーコードの推進、④食肉用物流クレート（通い容器）の標準化対応について検討しています。

■ 当センターへ就職を希望される学生のみなさんへ 【自分の価値観と合っているかが大切です。】

企業のイメージやネームバリューだけではなく、各企業の内面を知り、自分なりの価値観と合っているかということも大事だと思います。

なるべく多くの企業に足を運び、比較することで自分にあった会社が見つかると思います。

また、人事担当者の人柄も大事ではないかと思います。どんな仕事であっても、信頼や尊敬に値する人の下であれば、やりがいや達成感・充実感を得ることができると思います。

■ 新入職員に期待すること

センターは30歳未満の職員が少ない年齢層の高い会社です。そのため、現代には合わない古い慣習に囚われている事もあると思います。

新入職員の方には、凝固まった慣習に風穴を開け、新しい風を吹き込んでくれる事を期待しています。

情報部情報課 矢城佑一さんの詳細情報



■ 当センターに就職したきっかけ【運も実力のうち？】

私は元々、畜産関係の大学に通っていて、その中でも食肉の流通情報について興味を持っていました。その事をコンセプトに就職活動を行っていましたが、中々上手くいかずに苦勞しました。

その最中に、マイナビで日本食肉流通センターの事を知り「ここだ！」と思い応募をしたところ、センター側のお眼鏡に見事叶い、就職することができました。私はそれ以前にも、いくつか内定を頂いてましたが、1番やりたいことは何なのか？と考えたら、自然と日本食肉流通センターに就職しようという気持ちになっていました。人間素直が1番です♪

■ 大学生活について【バドミントンサークル&研究室に所属】

大学時代は、4年間バドミントンサークルに所属し、色々な業務をこなしながらサークル活動を楽しんでいました。中でも、年に1度行われる大学祭でサークルがたこ焼きの模擬店を出店し、見事その年の最優秀賞を頂いた事が、今でも記憶に残っています♪

また、3年生からは研究室に所属し、こちらも色々な事を学びました。まあ、学んだことの筆頭に上がってくるのは飲み会についてのご教授でしたが（笑）ちなみに、私の卒業論文は「植物性乳酸菌」についての研究でした。

■ センター内の雰囲気【ただ今、末っ子状態です】

私は8年ぶりにセンターに採用になったので、当然年齢が離れた方々がいっぱいいました。

なので、上の方々と仲良くやっていけるか心配でした。しかし、いざセンター内で過ごしてみると、みなさんととてもフレンドリーで、特に女性陣の方々はよく笑顔で接してくださるので安心感があります♪それに普通の企業と違い、1つの部屋にすべての部署が入っていて、お互いの顔が見えるのも魅力の1つだと思います。

■ 休日の過ごし方【ON・OFFの切り替えができるように♪】

センターは基本的に、土日祝日がお休みです。なので、土曜日は午前中ゆっくり寝られます（笑）午後は、必要なものを買出しに行ったり、休みが合えば友達と遊んだりしていますね。

あとは、私はスイーツが大好きなので、電車でおいしいケーキ屋さんに行く等の事をしたりします♪これらに関しては日曜日も同様な感じですが、ただ、当然月曜日からまた仕事が始まるので、日曜日の夜は早めに寝るように心掛けています。体調管理も自己責任ですので、しっかりしたほうが良いでしょう。

■ 就職活動中及び大学生のみなさんへ【今で言う自己分析】

就職活動は、自分がどう在りたいか？何をやりたいか？を良く考えて行動したほうが良いと思います。そういう考えを持つのと持たないとでは、面接などにも自ずと差が出てくると私は考えています。

あとは、周りが内定をもらっても、慌てずにマイペースに活動すれば良いと思います。こんな就職氷河期ですが、精一杯頑張ってください！そして、大学時代は「人生の長期休暇」だと思うので、いっぱいバカやって死ぬほど遊んでください（笑）